

「断熱・省エネルギーフォームビジネスブック」作成



環境省が推進している「COOL CHOICE」の一環として、断熱・省エネルギーフォームを促進するために、工務店等の説明用として冊子を作成。ご活用ください。詳細は各HPで。

▼断熱・省エネルギーフォーム促進のためのビジネスブックガイド <http://www.kensankyo.org/doc/btg.pdf>

▼COOLCHOICEホームページ

<http://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/>

▼住宅リフォームガイドブック(H29年7月版)

[http://www.j-reform.com/publish/book_guidebook.h](http://www.j-reform.com/publish/book_guidebook.html)
[tml](#)



情報提供：環境省

空き家活用や木の利用拡大で建基法改正へ

国土交通省は建築基準法を改正し、最近の課題となっている「空き家などのストック活用」や「建築物への木の利用の促進」、「建築物の安全性を確保するための適切なメンテナンスの促進」を図っていく。「社会資本整備審議会 第40回建築分科会及び第13回建築基準制度部会合同会議」が開催され、**建築基準法の見直しに向けての検討に入った。**

既存ストックは年々積み上がってきており、築30年を超えるものは5割を超える。また、空き家の増加も深刻化している。このため、用途変更のしやすさも含めて既存ストックの活用を促すような措置を検討していく。

住宅などの建築物に木材を利用しやすくする措置も検討していく。これまで、国は建築物への木材利用の禁止規定や、木材を利用した柱・梁などの技術基準の見直しを行っている。一方で、大規模な建築物や防火地域の建築物については、耐火構造を要求している。結果として、木造建築では耐火構造にするためには、石膏ボードなどによる防火被覆が必要であり、内装などで木材の良さを前面に出したデザインが難しい部分もあるというのが実情だ。このため、内装などに木材を活かしやすくする措置も検討していく。



「社会資本整備審議会 第40回建築分科会及び第13回建築基準制度部会合同会議」が開催され、建築基準法の見直しに向けての検討に入った

情報提供：国土交通省(創樹社)

1番人気はプレーリー、外観テイストの嗜好調査を実施



ケイミュは住宅購入予定者を対象とした住まいの外観デザインの嗜好調査を行い、その集計結果について公表した。住まいの外観デザイン嗜好調査は同社が毎年調査を実施しているもので、「住みたいと思うイメージの外観テイスト」について調査・集計したもの。全有効回答数960人での総合の順位は以下の通り。

《住みたいと思う外観テイスト・調査結果》

1位「プレーリー」 2位「シンプルナチュラル」 3位「ブリティッシュ」

同社によると、今年も「プレーリー」テイストの人气が高く、2位以下との差は昨年よりも拡大しているという。和洋の様式性の少ないオーソドックスなテイストへの人気はしばらく続くとしている。2位以下の傾向を性別で見ると、男性は「和ベーシック」「和モダン」を女性より好む傾向があり、オーソドックスな和洋折衷や和風テイストの嗜好性がやや高いとする。女性は「シンプルナチュラル」「南欧」を好み、シンプルなものや洋風テイストへの嗜好性がやや高いという。

情報提供：ケイミュ(新建ハウジング)